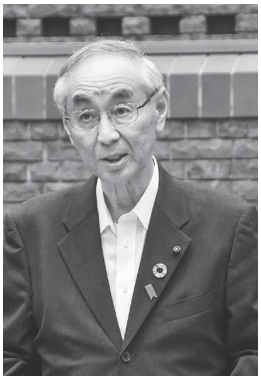
一般質問

一般質問　兎澤祐一議員（鹿真会・公明）

問　認知症の当事者や家族等が早い段階で様々な情報共有を相談ができるよう、認知症ピアサポート環境の整備が重要と考えるがいかがか。

答　相談支援機関と連携し、認知症カフェや認知症本人ミーティングを開催している。



認知症の人に寄り添った地域社会の構築について

問　認知症の行方不明者対策としてGPS端末活用に向けた負担軽減やQRコードシールの普及など、一人ひとりの生命を守る取り組みを推進すべきと考えるが、見解を伺う。

答　認知症の方の行方不明時の早期発見・保護に向け、平成29年度から「鹿角市認知症高齢者等お守りシール事業」を実施し、令和3年度からはQRコード付きの「ココいるシール」を導入している。

発行者数は75人であり、シールによって早期保護につながった事例も確認されている。

災害発生後の対応について

問　本市では、災害発生時における他自治体からの人的支援やボランティア受け入れのための受援計画を策定しているか伺う。

答　現在、具体的な受援計画の策定作業を進めている。昨年の秋田県総合防災訓練で得られた課題や、近年の大規模災害対応における被災自治体の事例等も参考にしながら、災害発生時の円滑な受援活動につながる計画となるよう取りまとめていく。

兎澤　祐一　議員　（鹿真会・公明）

質問時間　30分

質問した項目
- ■災害発生後の対応について
- ■認知症の人に寄り添った地域社会の構築について

録画配信はこちらから

一般質問　赤坂　勲議員（新時代かづの）

問　スポーツ大会の来場者を地域内消費につなげる仕組みを整えられないか。

答　地域経済活性化に資する重要施策と認識し、国スポ等ではブース設置や観光PRを行っている。中小規模大会も費用や効果を含め検討する。

赤坂　勲　議員　（新時代かづの）

質問時間　30分

質問した項目
- ■スポーツ施設の環境整備とスポーツを活用した観光戦略について
- ■冷涼な気候を生かした「避暑滞在戦略」について



スポーツ施設の環境整備とスポーツを活用した観光戦略について

問　近年の猛暑を踏まえ、屋内体育施設に除湿・冷却性能を備えたスポットクーラー等を整備し、大会時や避難所開設時にも柔軟に活用できないか伺う。

答　暑熱対策は喫緊の課題と認識している。アルパスでは大型冷風機を導入しており、その効果や施設の利用状況を検証しながら、他施設への導入を検討する。今後の冷却機器整備では、防災面での活用も考慮して必要な機能を検討する。

冷涼な気候を生かした「避暑滞在戦略」について

問　全国的に猛暑・酷暑が続く中、本市の冷涼な気候を地域資源として捉え、「クールかづの」として避暑や短期滞在につなげる観光戦略を展開できないか伺う。

答　朝晩の過ごしやすさや空気の清涼感など、本市の気候条件は夏の滞在や交流を呼び込む誘因の一つになり得る。一方、同様の気候条件を持つ地域もあるため、突出した優位性を見出すことは難しく、政策の柱とすることは容易ではない。

録画配信はこちらから